

葉たばこ生産ベストテン

専売公社千葉支局管内

- 大綱白里町 六一五、三〇六円
本納町 一四、七二二円
長生町 一四、二六七円
芝山町 一七、八七七円
富里町 一五、四八〇円

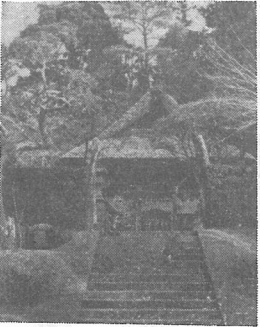
特別弔慰金の請求は 済みましたか

昭和四十二年六月一日戦没者の遺族に対する特別弔慰金支給法が施行され、次の要領で支給されることになりました。

ふるりの話題

元の町村大総村(二)

この大総といふ所には、八がある。横瀬の外にも次山神社や寺院



写真は遠山の万福寺「おやまのあみださま」で昔から参詣者が多い。観光を兼ねた団体の参詣者が多い。

また都市の近傍では宅地造成ムードのありやうを、葉たばこの耕作面積も減少しつつある。したがって、支局に割り当てられた耕作面積のワケに余裕ができてくるので、希望があれば申請してみるのも無駄ではあるまい。

得たものが死亡等の場合は戦没者の父母、孫祖父母、兄弟姉妹...

これだけは守って下さい

有線放送室

最近、また「有線の応答が遅い」、「話中が長すぎる」というお叱りいただきませ...



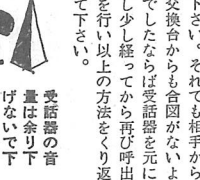
笠ぬいて秋の深さを知る日かな
去る4月16日、北清水の清水神社境内に、故伊藤東一郎先生...

町に老人クラブ十四 元氣一杯社会奉仕

政府の音頭で結成を奨励し「負けません」と意気さかんてりる老人クラブは、この町でも各部落で続々と結成されて...

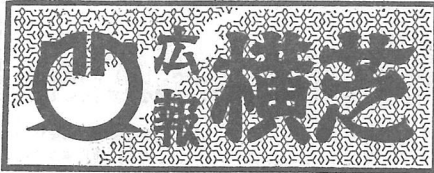
陸海空自衛官 目下募集

国々の平和と安全を守りながら自分自身の修養と広く深い技術の修得ができる自衛官は、青年の理想的な進路であります。



電話の音は余り下げないで下さい。出ない音はない、一度呼んでみる。

歴史代村長
氏名 就任年月
吉岡 幸雄 明22.4
大木 近次郎 25.7
伊藤 幸雄 26.7



この広報は各家庭にもれなく配布します
発行所・千葉県山武郡横芝 横芝町役場 (電話) 32・249・339

横芝町財政状況書

昭和 42 年 3 月 31 日 現在

昭和 42 年度一般会計の予算状況について

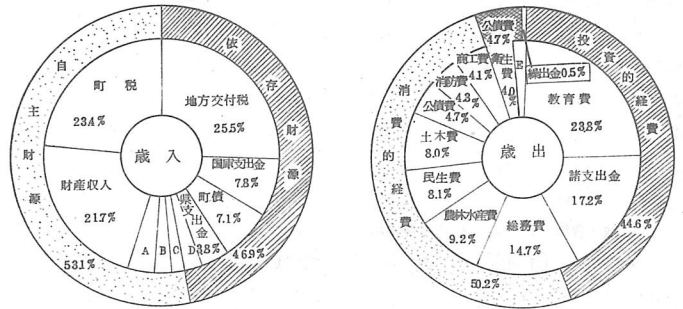
昭和 42 年度の一般会計当初予算の編成にあたっては、例年のことながら国の予算や地方財政計画が未確定なため、歳入歳出の大きな構成比を占める地方交付税や補助事業費等と関連する諸施策については確かな数値が得られぬためやむをえず現行の制度を基調とした骨格予算を編成し、確定次第補正追加してゆくことと致しました。この当初予算規模は別表のとおりですが、昨年度当初に比較した場合 43.5% (6,900 万円) の増となりました。これは性質別内訳からも明らかとなり、建設事業費 (昨年比 43.5% 増) 及び人件費 (31.3% 増) の大幅な伸びに起因するものであります。建設事業の内訳については別表のとおりですが、人件費の増嵩については、給食センターの開設保育所の町営化等による職員の増加、非常勤特別職委員等の報酬一律引上げ、人事院勧告に基く職員のペースアップ等が原因とな

っています。これらの経費の見合う財源としては、国や県からの補助金寄附金等の特定財源町税や地方交付税の一筆財源等があげられますが、本年もまた学校施設の建設や道路、消防施設等公共事業に対する需要が大きく、予算編成にあたっては特にこの点を留意し、産業振興施策と併せて重点施策としているわけですが、人件費等義務的経費の増嵩も避けがたく、限られた財源での予算化は難事であり、この財源不足を補うため財産売却収入等を見込み、併せて予算の合理的、効率的配分を行うことにより、強力に施策を推進することとしました。このように切迫した財政事情の中で本年も多くの事業を抱えているわけであり、町当局も消費的経費等の節減を図り極力財政の合理的運用を図る所存でありますので町民各位にも格段の御理解と御協力のほど切にお願いする次第であります。

昭和 42 年度一般会計予算款別表

【歳入】	款別	予算額		比較増減	おもな内訳
		昭和 41 年度当初予算額	昭和 42 年度当初予算額		
1. 町税	53,216	49,995	3,221		
2. 地方交付税	58,000	49,000	9,000		
3. 分担金及基金負担金	3,584	1,804	1,780	児童措置負担金 2,700 土木機械協議会負担金 900	
4. 使用料及手数料	1,699	1,978	△ 279	住宅使用料 700 トラクター使用料 400 諸証明手数料 600	
5. 国庫支出金	17,679	15,333	2,346	児童措置費 3,000 栗山川漁港改修補助 5,000 横芝小築補助 5,000	
6. 県支出金	8,700	6,282	2,418	栗山川改修補助 2,750 青年館建設補助 1,500 市町村道路整備補助 1,000	
7. 財産収入	49,161	9,038	40,123	栗山土地売却収入 49,000	
8. 寄付金	6,247	5,229	1,018	青年館建設地元 190 消防施設 1,000 栗山川改修 1,300 Tcc 1,000	
9. 繰入金	1	1	0		
10. 繰越金	7,833	2,504	5,329	前年度繰越金	
11. 諸収入	5,436	5,161	275	中小企業貸付金元利収入町預金利子等	
12. 町債	16,200	12,400	3,800	横小校舎改築 1,000 大総小プール 3,500 減税補てん 1,700	
歳入合計	227,756	158,725	69,031		

昭和 42 年度一般会計予算の構成比



- A 繰越金 3.5%
- B 諸収入 2.3%
- C 分担金負担金及使用料手数料 2.1%
- D 寄附金 2.7%
- E 議会費 1.8%

昭和 42 年度一般会計予算性質別内訳

【歳出】	款別	予算額		比較増減	おもな内訳
		昭和 41 年度当初予算額	昭和 42 年度当初予算額		
1. 議会費	4,020	3,449	571		
2. 総務費	33,446	27,992	5,454	役場費財産管理費等	
3. 民生費	18,355	11,406	6,949	保育所費児童措置費 8,000 青年館建設費 3,900	
4. 衛生費	9,024	9,060	△ 36	東陽病院分担金 2,700 尿処理組合負担金 1,000 環境衛生組合負担金 1,100	
5. 農林水産業費	20,907	20,424	483	栗山川漁港改修事業 10,000 各種事業補助金 3,500	
6. 商工費	9,383	9,646	△ 263	誘致奨励金 5,500 商工会補助 1,000 中商企業融資貸付金 2,000 県事業補助 5,000 道路新設改良費 5,000 道路維持補修費 3,500	
7. 土木費	18,167	15,595	2,572	消防車購入費 2,000 火の見貯水構建設費 2,000 災害補償退職金 1,500 大総小プール建設費 6,700 給食施設費 7,800 横芝小校舎改築費 22,000	
8. 消防費	9,828	7,804	2,024		
9. 教育費	54,267	45,642	8,625	町債元利償還金一時借入金利子	
10. 公債費	10,730	7,206	3,524		
11. 諸支出金	39,129	1	39,128	栗山地先土地購入費 36,000 公民館敷地購入費 3,000	
12. 予備費	500	500	0		
歳出合計	227,756	158,725	69,031		

性質別	予算額	比率	備考	附表 1. 普通建設事業費の内訳
1. 人件費	60,825	26.7%	職員給料議員委員その他非常勤特別職報酬	事業別 金額
2. 物件費	21,855	9.6%	事務費	横芝小校舎改築 22,276
3. 維持補修費	5,658	2.5%	庁舎、学校、道路等町有財産補修費	栗山川漁港改修 10,000
4. 扶助費等	28,186	12.5%	各種補助負担金	道路改良 9,211
5. 普通建設費	96,750	42.5%	附表 1 のとおり	大総小プール建設 6,711
6. 公債費	10,730	4.7%	町債元利償還金	消防施設整備 4,185
7. 出資貸付金	2,051	1.0%	中小企業融資貸付金、農業開発公社等出資金	青年館建設 3,951
8. 繰出金	1,201	0.5%	有線放送特別会計繰出	公民館敷地購入 3,000
9. 予備費	500	0		農道整備土地改良等 1,287
合計	227,756	100%		普通財産取得 36,129
				合計 96,750

昭和 42 年度横芝町一般会計歳入予算中町税の内訳並びに町民 1 人当り平均税額

税目	予算額	町民一人当り平均税額
1. 町民税	12,093	町民税
2. 固定資産税	23,852	12,093円 ÷ 12,636人 = 957円
3. 軽自動車税	2,697	固定資産税
4. たばこ消費税	9,195	23,852円 ÷ 12,636人 = 1,888円
5. 電気ガス税	5,299	軽自動車
6. 鉱産税	50	2,697円 ÷ 12,636人 = 213円
7. 木材引取税	30	合計
合計	53,216	38,642円 ÷ 12,636人 = 3,058円

昭和 42 年度特別会計予算について

国保会計の増は来年から世帯員の 7 割給付が実施されるため、この財源措置がなされたためであり、有線放送会計の激減は昨年度の大規模な改修工事によるものであり、住宅改良資金会計については、昨年度をもって元利償還が完了したため当会計を閉鎖したものであります。

昭和 42 年度特別会計計算表

会計別	予算額	昭和 41 年度当初予算額	比較増減
国民健康保険特別会計	48,076	36,864	11,212
有線放送電話特別会計	9,476	36,945	△ 27,469
老人ホーム特別会計	8,902	7,967	935
住宅改良資金特別会計	—	1,299	△ 1,299
合計	66,454	83,075	△ 16,621

昭和40年度一般会計決算状況について

昭和40年度の一般会計収支の状況は次表のとおりであり、歳入歳出差引1,239万円の翌年度繰越金を生むことができました。しかし乍ら歳入総額のうちには前年度からの繰越金1,032万円が含まれておりますので、単年度収支では201万円の黒字ということになります。

度決算における前年比33.7%の伸びを大幅に下廻る結果となりました。しかし乍ら構成比からみた場合、これら一般財源の占める比率は相変らず大きく、町の重要な財源となっております。

昭和40年度一般会計決算目的別及性質別内訳

(単位千円)

Table with columns for 歳入 (歳入別, 決算額, 比率) and 歳出 (目的別, 決算額, 比率, 性質別, 決算額, 比率). Rows include 1. 町税, 2. 地方交付税, 3. 分担金及負担金, etc.

歳入歳出差引 12,329 翌年度繰越

負債の状況について

3月31日現在の町債は次の通りであります。町が事業を行う場合はその財源として税金収入等の一般財源又は国や県からの補助金等特定財源によるほか、借入れが出来ることになっております。

昭和40年度特別会計決算表

(単位千円)

Table with columns: 会計別, 歳入決算高, 歳出決算高, 歳入歳出差引, 備考. Rows include 国民健康保険特別会計, 有線放送電話特別会計, etc.

負債の状況

町債一覧表

<単位円>

Table with columns: 借入年度, 事業名, 借入金額, 借入先, 利率, 昭和41年度償還金, 昭和41年度末現債高, 備考. Rows include 義務教育施設整備事業, 公営住宅建設事業, etc.

町有財産

(一) 土地及建物の部

(単位㎡)

Table with columns: 区分, 名称, 土地, 建物, 備考. Rows include 公用財産 (役場庁舎, 消防施設), 公共用財産 (給食センター, 公営住宅), etc.

(二) 車輛、機械器具の部

Table with columns: 区分, 名称, 数量, 備考. Rows include 公用財産 (消防ポンプ車, 乗用自動車), 公共用財産 (貨物自動車, 有線電話施設), etc.

(三) 構築物の部

Table with columns: 区分, 名称, 数量, 備考. Rows include 公用財産 (鉄骨火の見, 貯水そう).

(四) 有価証券の部

Table with columns: 区分, 名称, 金額, 備考. Row includes 普通財産 (電信電話債券).